

請第3号



原子力災害における実効性ある避難計画の策定実現を求める請願

請願者 原発を再稼働させない柏崎刈羽の会  
新潟県柏崎市北半田1丁目6-39-1 本間 保  
新潟県柏崎市茨目2丁目7-11 竹内 英子  
新潟県柏崎市南半田2-25 高橋 優一

紹介議員 星野 幸彦 (印)

令和6年5月31日

柏崎市議会議長 柄沢 均 様

## 原子力災害における実効性ある避難計画の策定実現を求める請願

### (趣旨)

原子力災害における柏崎市民の被ばくを防ぎ、健康な生活を維持するため、市民の被ばく線量が平常時の基準を超えないよう考慮するなど実効性ある避難計画を策定する事を、新潟県並びに柏崎市に対して働きかけるよう請願します。

### (理由)

2024年1月1日の能登半島地震は、原発事故の際の避難について、改めて柏崎市民の不安を大きくしました。私たち柏崎市民は原発に賛成、反対に関わらず、一旦事故が起これば被ばくを避けるために避難しなければなりません。しかし、柏崎市の原子力防災計画は市民の安全を保障するにはいくつかの問題があり不十分なものです。

第一に、避難指示が出た時にスムーズに避難できるのかという点です。激しい渋滞が予想され、市内を脱出できない可能性が大きいことです。そのことは新潟県のシミュレーションからも明らかになっています。

第二に、複合災害において、地震や土砂崩れで道路が損壊した場合、渋滞はさらに激しいものになり、避難そのものが不可能になる可能性が大きいと考えられます。新潟県中越沖地震では3方向の交通が遮断され、孤立した地区もありました。

第三に、能登半島地震で避難の困難さが明らかになったことから、国や市は全住民に屋内退避を求めるようになっていています。大雪や地震などとの複合災害において、ほぼすべての市民が屋内退避を指示され、避難可能な状態であってもUPZ住民は避難指示があるまで屋内待機を強いられます。

第四に、避難時のスクリーニングの問題があります。スクリーニングレベルは以前は一歳児で100msvに相当する13,000cpmだったものが、4月に、個人単位でのスクリーニングをやめ、車ごとに汚染度をチェックする方針に変更されています。基準は40,000cpmに引き上げられ、車両検査で必要なしとされれば住民検査は行われれないという方法になりました。これでは住民がスクリーニングをすり抜けてしまい、スクリーニングの意味がないことになります。

さらに、要支援者の避難、放射線防護施設、移動用のバスの確保、学校等での子どもの引き渡しなど、現在の避難計画は全く不十分なものです。

原発事故で故郷が失われるようなことがあれば、原発賛成、反対を超えて柏崎市民にとって、取り返しの出来ない悲しむべきことです。市民の安全と生命を守るという柏崎市の最大の責務を実現するという観点から、新潟県並びに柏

崎市に対して十分に実効性のある避難計画を策定するよう本請願の趣旨実現のため働きかけるよう請願します。